
歌と私と狂った世界

Hiria

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

歌と私と狂つた世界

【Zマーク】

Z0324R

【作者名】

Hirria

【あらすじ】

歌が好きな少女、「田富 凪 タミヤ ナギ」は、家庭崩壊の恐怖に家を飛び出す。ふと目につけた某ネットカフェで、あるサイトに自分の歌を投稿した。そして、新宿にて小さな女の子に出会い。歌と、女の子によって、16歳の凪の日常が豹変していく。

歌と私と狂つた世界

私は小さい頃から歌が大好き。
四六時中好きな歌を歌っていた。
歌手を目指すところ心行きも
高まりつつあった。

しかし、世の中は甘くは見ててくれなかつた。

家庭崩壊 。

嘘みたいな現実に直面

「お父さん…お母さんもうやめて……」

「うっせえーガキはすつ」んでろ……」

子供に対しても、容赦はなかつた。

何田も何田も、

この拷問を耐え続け

ついに、限界の域を越えた。

「IJのまじや…殺される。自分の夢を叶えられないまま…殺され
る…」

ただ私の脳裏には「殺される」という言葉が絶えなく響いていた。
私は我慢と我を忘れ、家を飛び出しつにかく走つた。

ふと、目に付いたのはネットカフェ。

昔、お母さんに言われたことを思い出す。

「ネットカフェって書るのは、自分を忘れた人が行く所だからあんまり入っちゃダメだよ」

今は、自分を忘れきつてる。

と思い、自分を許し入ってしまった。

けど、お母さんが言つた事とは裏腹に、ネットカフェが天国かのようと思えた。

私の好きなパソコンがこんなにある……といつ喜びに満ちあふれた。

とある某サイトを見つけ、私は気になつてページを開く。

私が見た光景は、「歌と声」と言う文字。

いろんな人が歌つてるんだ。

と、無我夢中になり、私は家の事を忘れてしまつていた。

遊び半分で、マイクに手を伸ばして、お気に入りの歌を口ずさんで投稿してみた。

私の声って、こんなのがなんだー
楽しい

何もかもが吹つ飛ぶ。

私の生き甲斐

しかし、時間は限られている。

「未成年はこの時間の入室はお断りさせていただきます」

そう。私はまだ、16歳。

帰る場所はない。

家に戻る気も毛頭ない。

私は夜の新宿を転々とした。

「あれ…？あそこに子供が…」

時刻は2時を回ろうとしてた時、
5歳ぐらいの女の子。

こんな時間に一人は有り得ない。
と、横切ろうとした時

目が合つた。

無表情。子供なのにこんなに怖いなんて…と、恐怖心に襲われて走
つてその場からすぐに逃げた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0324r/>

歌と私と狂った世界

2011年10月8日18時42分発行